

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2025-003
2.研究課題名	社会的孤立・孤独と顔印象判断
3.研究期間	令和7年 4月（倫理委員会承認後）～ 令和 12年 3月 31日
4.研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての確に記すこと。） 社会的孤立、孤独はうつ病、認知機能低下、肥満、がん、心臓病など様々な疾患の危険因子である(House et al., 1988; Holt-Lunstad et al., 2010)。孤立、孤独状態にあるものは、人との交流やかかわりの渴望があるにもかかわらず、対人距離を大きくとったり、他人へ否定的な期待感を抱いたりと相対する対人関係にかかわる特徴を有することが報告されている(Layden et al., 2018; Bellucci, 2021)。社会的孤立や孤独はこころや脳機能の働きを変え、孤立や孤独を助長している可能性がある。本研究では、社会的孤立・孤独が顔印象判断と関連するか行動課題を用いて明らかにする。特に、社会的孤立や孤独感が強いものは、交流に関する欲求が強いにもかかわらず、顔印象判断において Negative な評価を下す傾向があるという仮説を検証する。 方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 18歳以上の健常成人を対象とし、44名程度について行動課題を実施する。除外基準は脳疾患、精神疾患、神経症性疾患の既往歴があるもの、fMRI測定が困難なもの（閉所恐怖症、体内金属、入れ墨、タトゥーなどがあるもの）、そのほか、課題遂行に支障をきたす問題を有するものとする。 問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院教育学研究科 教育情報アセスメント講座 コミュニケーションサイエンス研究室 022-795-6143

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）